



らくらく筋トレ大会を開催



解説を受けながら体操する参加者



解説する浅川教授

らくらく筋トレ大会が9月26日、村公民館多目的ホールで行われ、村内各地区のサロンなどで、らくらく筋トレ体操に

取り組んでいる85人が参加しました。この大会は、健康・仲間づくりを目的に村が取り組む介護予防事業の一環として行われたもの。大会では、まず2か所が新規サロンとして堤村長から認定されたほか、「らくらく筋トレ体操」を考案した首都大学東京の浅川康吉教授による、らくらく筋トレ体操ポイント講座が行われました。大会後、希望者は体力測定会にも参加。日常生活を送るための日々の取り組みの大切さを確認していました。

英語弁論大会で昭和中生が活躍

第72回利根郡英語弁論大会が9月19日、川場村文化会館で行われ、昭和中学校1年生から3年生までの7人の生徒が出場しました。

大会では、儘田陸君(3年)が準優勝を受賞したほか、対話形式で出場した竹内万里菜さん・七五三木蘭さん(ともに2年)ペアと、石坂沙羅さん・高橋祭君(ともに1年)ペアがベストエナジー賞を、ランドルアリサダニエルさん・須田里桜さん(ともに1年)ペアはグッドプライ

ズ賞を受賞しました。

準優勝の儘田君は、10月3日に行われた第20回群馬県中学校弁論大会に出場し、優秀賞を受賞しました。



準優勝の儘田陸君



弁論大会に出場した、(左から)須田さん、ランドルさん、高橋君、石坂さん、竹内さん、七五三木さん

板橋芳郎さんに

瑞寶雙光章

村教育長を務めた板橋芳郎さんが瑞寶雙光章(教育功労)を受章されました。

板橋さんは昭和44年に教職に就いて以来、平成19年3月に沼田市立沼田小学校長を退職するまで、永年にわたり、学校教育に大きな功績を残されました。

また、退職されてからは村教育長として教育・文化の振興に大きく寄与されたほか、在任中に群馬県町村教育会長も歴任され、県下教育界の運営・充実に多大な貢献をされた功績が高く評価されたものです。



板橋芳郎さんと節子夫人

川額・森下で恒例の豊年まつり開催

一年の五穀豊じょうを祈願する「豊年まつり(諏訪祭)」が川額、森下地区で行われました。これは、江戸時代から始まった歴史あるまつりで、養蚕の神とされる諏訪大明神がまつられています。

川額地区では9月28日と29日に川額・八幡宮で開催され、川額上と川額下の中学生がそれぞれ制作した2基の「かつぎまんどう」が堂々と入場。2日目の29日は祭りの盛り上がりが最高潮に達し、八木節が披露される中、まんどうが堂々と再入場。七回めぐりが始まると、境内を

まわりながらまんどうを激しくつつかけ(ぶつけ)あいました。

また、森下地区では9月30日と10月1日の2日間、森下・大森神社で開催され大勢の見物客が訪れました。森下でも中学生が制作してきた森下上・中・下の3基の「かつぎまんどう」が入場。青年団らによる伝統の八木節の舞いが披露される中、「かつぎまんどう」が入り、迫力ある七回めぐりを披露しました。まんどうが勢いよくつつかけあう度に見物客から歓声が上がっていました。



登場した色とりどりのまんどう(川額地区)



祭りを盛り上げた八木節(川額地区)



堂々と入場してきたまんどう(森下地区)



揃いの支度で八木節を披露(森下地区)

長寿祝い

敬老祝い金を配布

村では、村内の80歳以上のお年寄り77人の長寿を祝い、地域の民生委員を通じて敬老祝い金を贈りました。

また、95歳以上のお年寄り61人には9月12日、堤村長、小林副村長がそれぞれ自宅などを訪問。直接、敬老祝い金を手渡しました。

今年で96歳を迎えられた加藤夫美子さん(宿)にも、堤村長から敬老祝い金が手渡されました。堤村長から「これからもお元気でいてください」と敬老祝い金が手渡されると「どうもありがとうございます」と元氣な声で応えていました。



96歳を迎えられた加藤夫美子さん